

難聴児サマースクール(報告)

7月29日(水)、難聴児サマースクールを行いました。本校に通級指導教室や教育相談で来ている地域の難聴の児童生徒4名が参加しました。

今年度のサマースクールは、昨年度に引き続き、みんなでたこ焼き作りをしました。この日は、子どもたちも先生も呼んでほしいあだ名を決めてそのあだ名で呼びあい、ざっくばらんに楽しむルールにしていました。子どもも大人も「〇〇ちゃん」「△△くん」とフランクに声をかけあいながら活動していききました。

初めにドンっとまとめてたこ焼きの材料を渡し、3つのグループで分けながら作るように促しました。1つのグループがまとめて材料を取ってしまった時に、材料が足りないチームはどうするのかと思って様子を見ていましたが、その時には別の材料の準備に入って分業してみたり、またお互いに必要な時には他のチームのメンバーに声をかけ、足りない材料や道具を分けてもらったりするなど、いろいろと考え、協力しながら、たこ焼き作りができました。

自分たちで作ったたこ焼きはとても美味しかったようで、子どもたちはたくさん食べて満足げな様子でした。

お互いに久しぶりに会って活動する子どももいましたが、楽しそうな笑顔がたくさん見られました。地域の難聴児同士の繋がり大切さも改めて感じられた1日でした。

